〈海外研修セミナー講演要旨〉

国際感覚豊かな青少年の育成について

東京都立国際高等学校
教頭　土屋　正孝

我が国の国際社会における地位の向上に伴う人材の育成に対応する高等学校等三項目からなる設置の背景。

東京都立国際高等学校基本構想検討委員会の三つの教育理念に基づき、専門学科としての「国際学科」単独設置の高校とする基本構想。

豊かな国際感覚も、秀れた外国語能力も、高校生としての基礎・基本を習得の上に育成されるという考えでの専門教科の履修を特色とした教育課程が基盤になる。

そして、「国際感覚豊かな生徒像」として、次の六つを期待する。

1　人種、性別、宗教のいかんを問わず、他人への思いやりがあり、広く地球的規模でものごとを考えることができる。

2　日本の歴史、文化、伝統、生活について十分に認識し、日本人としての自覚をもつ。

3　他国の文化生活についての理解があり、それを尊重する。

4　自分の考えをはっきり持って、相手に論理的に伝えられる発表力を身に付けている。

5　自分は人のために、何ができるかを心に決めて、専門性を高める努力をする。

6　英語の理解力、表現力が身に付いている。

アメリカにおける日本人語学研修生受け入れの現状

ウィッシュインターナショナル㈱
日本代表　鈴木　実

ウィッシュは、サンフランシスコに本部があり、一九八七年に日本支社が設置された。

海外の文化、生活、習慣を学ぶ最適な手段として、一般家庭に滞在（ホームステイ）し、お互いの交流を通して、新しい輪を広げていくことを目的として活動している。

最近、いろいろな問題が発生している。それをなくし、ホームステイの成果をあげるには、

1　出発前、ホームステイ先の国の生活習慣を知って行くこと。

2　日本の文化・伝統についても知って行くこと。

3　自分で何事もやるという強い意志が必要。

4　相手の国の人々と交流をしたいという努力をしなければならない。

語学研修、ホームステイの心がまえ……体験を通して

㈶エイ・エス・エフ日本協会
事務局次長　武藤　多美

AFSは、第一次大戦のなか、傷病兵看護に当たった有志が、二度と悲惨な体験を人類が繰り返さないようにという気持ちから一九四六年に交換留学制度を推進、加盟は六十八国に達している。日本では一九八〇年に設立された。

1　異文化のなかで生活するということは、ある意味で楽観主義と同時に常に明確な目的意識を持つことが大切である。

2　ホームステイを通して何を知りたいのか、何をやってみたいのか、何をホストファミリーに対して与えることができるのかなどを出発前によく考えていれば、滞在中に多少の困難に出会っても、目的意識が自分を支えてくれる。

3　自分の生活をホストファミリーに持ち込むのでなく、ホストファミリーの生活のままを体験する。

4　家族の一員として、義務的な手伝いをするのでなく、自ら進んでする。

5　感謝の気持ちを具体的な言葉や行動で表す。

まなびピア'89 幕張メッセで開催

文部省、千葉県ほかの主催による「第一回生涯学習フェスティバルまなびピア'89 in Chiba」が、十一月二十三日から五日間、千葉市の日本コンベンションセンター〝幕張メッセ〟で開催され、小学校の団体から高齢者まで、二十四万名の幅広い参加者で連日にぎわった。

来年度は京都で開催の予定。

広大な生涯学習見本市会場

〈関修委研究発表会発表要旨〉

達成感の充実をめざした修学旅行

群馬県北群馬郡小野上村立小野上中学校
校長　後藤　秀雄

修学旅行は極めて大切な教育活動である。実施に当たっては、その意義、教育課程上の位置付け、学校の教育目標や課題等との関連を明確にして進めることが肝要である。

本校では、これらを大前提として踏まえ、修学旅行は、①望ましい集団活動である。②平素と異なる環境の中での生活行動体験である。③見聞を広め、自然や文化に親しむ活動である。④集団生活の在り方や公衆道徳について望ましい体験を積む活動である。

また、この修学旅行は、中学校での生活や学習、とりわけ、これまでの旅行等校外学習の総括的なものであるととらえ、指導者相互の共通理解を深め合った。

さらに、学校の教育目標や重点課題とのつながりを検討し、そのきずなをきちっと押さえ、しかも計画・実施・評価に一貫性を持たせることに努めた。

本校では、生徒の学習意欲を高める授業の在り方を求め、「達成感の得られる課題解決的学習を通して」というサブテーマを設定し、校内研修を進めている。また、これに呼応して本年度は「課題追求と達成感」というキャッチフレーズを掲げ、生徒の意欲の喚起と学校の活性化を指向した。

そこで、この修学旅行も課題を明確にし、さわやかな達成感を味わわせるという観点で実施することとした。

ついては、実施計画検討会を開き、次のことを検討した。

①修学旅行の意義について
②達成感の充実を目指した修学旅行について
③事前指導等の内容について
④生徒の主たる自主的活動内容と方法について
⑤旅行中の指導事項と留意事項について
⑥事後指導と評価について

事前指導では、修学旅行の目的、事前・実施・事後の課題を明確にし、実践行動要領をも含めて計画的に指導の徹底を図った。

生徒は旅行委員を中心として、「みんなで、仲よく、楽しく行って来る」という旅行課題を設定し、奈良では東大寺、二・三月堂、春日大社、法隆寺、京都では、宇治平等院、二条城、金閣寺、映画村、清水寺、三十三間堂等を見学した。

旅行を終えてその達成感を評価してみると、生徒が自ら設定した課題についてのアンケート調査ではほとんどの生徒が、楽しかった、仲よくできた、楽しい雰囲気作りに努めた、快適な体調で安全に行動できた、と答えている。きまりを守り礼儀正しく行動できたかについては三十四人中普通十人、できなかったが三人。まじめに見学し見聞を広めることができたかについては、普通十四人、できなかった〇人であった。

楽しかったことは旅館の中、買い物、乗り物の中。見学地でよかったのは金閣寺、清水寺、二条城の順であった。

思い出文集「修学旅行、奈良・京都」では、歴史を感じた修学旅行、大きかった東大寺の大仏、楽しかった修学旅行等の主題があり、清水寺では頭の水・愛の水・長生きの水を飲みすぎた。東大寺では「わあでっかあい」と口々に叫ぶ。金閣寺の美しさに見とれながら等々それぞれの見学地での体験、感動、印象等が鮮明に述べられていた。

そこで、修学旅行を「宿泊を伴う旅行先の特色を印象深く体験的に学習する場」として洗い直し、また教育目標の具現化を考慮して、次の二点からその改善・充実を図った。

(1)生徒の自己実現を目指す旅行日程の作成
(2)オリエンテーリング方式による体験的班学習の導入

それまでの京都・奈良の神社や仏閣の拝観を中心とした日程から、㋐オリエンテーリング方式の自主活動に適する観光地㋑京都に匹敵する歴史的な史跡が存在する場所㋒山間部の生徒が体験的に学習するにふさわしい名所を含む海辺などの観点から、次のコースを設定した。

〈一日目〉沼田―東京―奈良（奈良公園班別見学）―㊐
〈二日目〉宿＝薬師寺＝法隆寺＝（明日香村班別サイクリング見学）―宇治山田＝㊐
〈三日目〉二見＝鳥羽（真珠島・水族館見学）―名古屋―東京―沼田　※二泊三日

今年度「自分たちの手で修学旅行を成功させよう」のスローガンで、企画段階から生徒をできるだけ参加させ実施された修学旅行であったが、ほぼ計画通り終了した。特に、旅行の中核ともいうべき班別自主行動の展開では、事故もなく笑顔や満足感の中で目標達成への活動ができた。この行動は、生徒の自主性や協調性の育成を主なねらいとし、自立心を信頼しての試みであったが、かえって生徒たちは教師に引率される時よりも、責任を持って規律正しい行動が取れたようである。三年間の集積の結果が取り組みをより主体的積極的にしたといえよう。

しかし、十分な事前学習（準備過程）がないと、ただ見学箇所を通過するだけになってしまうこと、雨への対処、安全対策の不備等が課題として残された。いずれにしても、従来の「見る・聞く」旅行から「行動する（自ら体験する）」旅行への転換は意義深いものであった。今後の方向としては、班や自己の課題を詳しくしながら班別行動の時間や範囲を広げていくこと、鳥羽方面での底引網漁法の体験などの検討を考えている。

体験的な班別学習を取り入れた修学旅行

―生徒の主体的な活動を目指して―

群馬県沼田市立沼田西中学校
教諭　真庭　幹郎

本校では、修学旅行を中学校三年間を通じて行う総合的教育活動としてとらえ、生徒の発達段階に応じて各学年で実施する集団班別学習の集大成とみなして、その改善に努めている。

三年前までは、教師が見学場所を選択して目的を決め引率して名所旧跡を回るという、いわば教師主導型の伝統的な方式であった。そこでは、生徒が「楽しかった」というものの、生徒の主体的な取り組み不足、その活動意欲や自主的・実践的態度の育成といったねらいからは必ずしも満足できるものではなかった。

そこで、修学旅行を「宿泊を伴う旅行先の特色を印象深く体験的に学習する場」として洗い直し、また教育目標の具現化を考慮して、次の二点からその改善・充実を図った。

(1)生徒の自己実現を目指す旅行日程の作成
(2)オリエンテーリング方式による体験的班学習の導入

それまでの京都・奈良の神社や仏閣の拝観を中心とした日程から、㋐オリエンテーリング方式の自主活動に適する観光地㋑京都に匹敵する歴史的な史跡が存在する場所㋒山間部の生徒が体験的に学習するにふさわしい名所を含む海辺などの観点から、次のコースを設定した。

〈一日目〉沼田―東京―奈良（奈良公園班別見学）―㊐
〈二日目〉宿＝薬師寺＝法隆寺＝（明日香村班別サイクリング見学）―宇治山田＝㊐
〈三日目〉二見＝鳥羽（真珠島・水族館見学）―名古屋―東京―沼田　※二泊三日

今年度「自分たちの手で修学旅行を成功させよう」のスローガンで、企画段階から生

美しくに　伊勢志摩
伊勢内宮前　岩戸屋へ
内宮前でのお食事は階上・階下共1,500名様までお楽にお食事が出来ます。お食事ご休憩にご利用下さい。
おみやげコーナーは伊勢参拝記念の土産を豊富に販売致しております。
伊勢市内宮前
岩戸屋
伊勢内宮前（〒516）
TEL〈0596〉23－3188㈹
テレックス 4969－503 イセイワトヤ

首都東京を見て、何かを！
学校単位の貸切りでご利用下さい
30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容
本郷の旅館へ
本郷旅館協同組合
〒113 東京都文京区本郷4－36－3 TEL 03－813－9381

楽しい修学旅行を、
より安心
より快適に
TOKIO MARINE
「学校旅行総合保険」をおすすめします。
東京海上火災保険株式会社
本店　東京都千代田区丸の内1-2-1　☎03-212-6211(代表)

―修学旅行の楽しいお食事―
箱根彫刻の森美術館内
レストランコンポート
◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。
〒250-04
神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121
☎0460(2)1141(代表)

2泊3日で讃岐路へ(4)
高松からＪＲで帰途に
関修委現地研修報告

全修協参事　澤　田　克　郎

▽高松　十二万石の城下町、現在人口三十万、四国の玄関である。空路は年内にジェット化、海路もすべて高松に寄る。「讃州さぬきは高松さまの城が見えます波の上」と歌われたが、明治の中頃築港のため浮城でなくなった。街路樹等の楠の緑が情緒をかもし出す。栗林公園への途中の中央公園には、高松の生んだ文豪菊池寛と、伝統漆芸の先駆者玉楮象谷の銅像が立つ。

海に面した高松城・玉藻公園

沖には女木、男木の両島、大槌、小槌、大島、直島の大小の島が浮かび、かなたにはオリーブの小豆島が瀬戸の落日に映える。しかし今は陸になった屋島の存在が大きいかも。

廃止塩田ではクルマエビの養殖が盛ん。「かやくうどん」と品書きにあり、かやくとは火薬ではあるまいし、関東でいう薬味、具のことらしい。瀬戸内の二毛作の裏としての小麦粉を手打にする。讃岐の旅はうどんに始まってうどんに終る。日常生活も何かというとうどんであるとか。正にうどん王国といえそうだ。

漆器は藩政時代の奨励と支援で発達し、今日に受け継がれている。数字でみると、香川の漆器は高松を中心に年産百七十億円、漆器作家七十余人、事業所二百、従業員約二千人、販売は北海道から沖縄まで、文字通り漆器王国でもある。

もう一つの王国と呼ばれるものに野球がある。香川は至るところで早朝野球の華が咲く。六時プレーボール、一戦終えて背広に着換えて出勤する。参加チームは四百余、中年以上に知られるお座敷の唄「野球拳」もここの産とか。

今日から阿波踊り、国道11号徳島方面行は数珠つなぎ。志度は平賀源内の出生地で住居跡が現存、エレキテル等保存している由。高松からフェリーで神戸までは四時間半、花屋の店頭に女郎花の黄が束になっていた。

▽ＪＲマリンライナー　なかなか瀟洒な車体である。四両編成、全車禁煙。やれやれと思ったら、瀬戸大橋海上九・四キロを七～八分で通過、車中皆立ち上がって橋を、船を見ている。もちろん現在も周辺は工事中、与島の石切場は既に掘りつくし海底まで延びているとか。高松から岡山まで正味一時間弱、海上を行くのに比べ、なんと速くなったことか。雨の少ない瀬戸内気候をソーラーシステムの屋根にうべないながら岡山へ。帰りの新幹線のよく眠れたこと。

このコースにプラス「鳴門のうず潮、淡路島」の回遊は無理か、小豆島を割愛しても二泊三日では駄目か。東京着十八時八分、次回の再会を約し、それぞれ帰宅。一見無表情に見える海の多様な表情、豊かな感情に触れる旅であった。特に山育ちの私のあこがれがそうさせたのか、「瀬戸内浪漫紀行」とでもいえそうな研修の旅であった。（おわり）

吉野ヶ里遺跡
11月10日から全域を公開

佐賀県神埼郡神埼町と三田川町にまたがる「吉野ヶ里遺跡」は、保存・見学のための整備が進み、十一月十日から全域が公開された。

物見やぐらを始め、竪穴住居、高床倉庫などの建物を復元、展示室、墳丘墓仮覆屋を含め見学ができる。9時～16時30分、年中無休、無料。

ＪＲ長崎本線三田川駅又は神埼駅下車、大型バスは国道385号線利用、駐車料千円。▼吉野ヶ里遺跡展示室☎0952・52・4130▼遺跡案内人（三田川町商工会）☎0952・52・4644

日本カメラ博物館が東京都心に誕生
明治から現代までのカメラ

数百台を一堂に展示、我が国のカメラの発展史を伝える日本カメラ博物館（森山真弓館長）が、十一月二十九日東京・一番町に誕生した。カメラファンはもちろん、自主見学にも好適。

開館＝10時～17時、月曜日（祝日の場合翌日）と年末年始休館、入館料大人300円、小・中学生100円、団体大人200円、小・中50円。営団地下鉄半蔵門線半蔵門駅4番出口・ダイヤモンドホテル本館裏手。〒102東京都千代田区一番町25☎03・263・7110

全修協・各地区会議を開催
平成2年度研修旅行の大綱を協議

(財)全国修学旅行研究協会の各地区会議は、北陸・東海地区の十一月十四日を皮切りに、近畿地区十一月二十二日、東北地区十一月二十八日、関東地区十二月七日、中四国・九州地区は十二月十四日に開催される。

この会議は、全修協が「修学旅行の改善向上」と、一体的事業として推進している「教職員の研修活動」である平成二年度の教職員研修旅行の大綱について協議するもので、教育界の優れた教育行事として定着発展してきた。この研修旅行は、歴史、文化、自然に接し、豊富な講師陣と共に自己研修による資質の向上、教育経験の交流による人間性の深化、元気回復を図り、教育の生産性の向上等を目的とし、長期休業期間（春、夏、冬休み）の有効な活用の場を提供してきた。

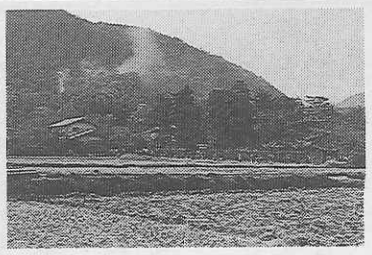
平成二年の特色あるコースとして、花と緑と人間のかかわりをとらえ、潤いのある豊かな社会の創造を目指す「国際花と緑の博覧会」コースのほか、NHK大河ドラマ〝翔ぶが如く〟の主人公西郷の人物像と、それを育んだ土壌を探るコース、千利久四百年忌に因むコース、吉野ヶ里遺跡探究コースなどあり、いずれも話題性、研修性に富んだものである。

全修協では、全国で六千五百名の参加を目指している。

「古都―その点・線・面」(18)
嵯峨野　落柿舎と二尊院

……落柿舎を刈田の靄のへだてける　（久野五郎）

野宮神社から常寂光寺へ行く途中、右手に稲田を通して落柿舎が望まれる。その風景は四季を通じて飽きないものだ。


晩秋の嵯峨野、落柿舎は右奥

秋深く、刈田の稲木はすでになく、藁を焼く紫色の煙が立ちのぼる。

……柿ぬしや木ずゑはちかきあらし山　（去来）

其角の紹介で蕉門に名を連ねた去来が「落柿舎ノ記」を書いたのは、元禄二年（一六八九）のことだった。

……嵯峨にひとつのふる家侍る。そのほとりに柿の木四十本あり。（中略）みづから落柿舎の去来と書きはじめけり。

そして、末尾にこの句が詠まれている。

去来が、師芭蕉を落柿舎に迎えたのは三度に及ぶ。はじめは元禄二年、「奥の細道」の旅を終えた芭蕉が、故郷伊賀上野から近江に行く途次のこと。次いで、「嵯峨日記」を書いた元禄四年、そして三度目が元禄七年の芭蕉最後の旅のときであった。

芭蕉が訪れた落柿舎はどのあたりであろうか。明和七年（一七七〇）、俳人井上重厚は、先の「柿ぬし……」の句を頼りに落柿舎を探し、そこに句碑を建て、再興したという。その後の変遷はあるが、ともあれ、現在、落柿舎は保存会によって昔の面影を留めている。

小さなかや葺の門、「落柿舎」と書かれた釈瓢斎の額、立てかけられた蓑と笠、柿の木やバショウの木と幾つかの句碑……。

去来は蕉門十哲の中でも筆頭に推すべき人だと言われる。「去来抄」は芭蕉の俳諧を後世に実に忠実に伝えた。

……小さき　～　去来の墓の時雨けり　（柳史）

高さ三十センチあまりの自然石に、「去来」とのみ刻まれたのが去来の墓だ。二尊院への途次にある入口には、瓢斎の句が案内板を兼ねる。

……秋風に吹き残されて墳一つ

不明となった真如堂の墓は知る由もないが、ここは去来の人間味が伝わってくる墓標である。

弘源寺墓地に入る道の奥に、小さな井戸の跡がある。「西行井戸」と呼ばれる。

……小鹿なく小倉の山の裾近み　ただひとり住む我が心かな　（西行）

墓地のまわりには、多くの新しい句碑や歌碑が建てられている。去来や西行への思慕を物語るものだ。

去来の墓から二尊院は近い。その大きな総門は、角倉了以が伏見城の薬医門を寄進したものと伝えられる。

総門を入ると、桜の馬場とも紅葉の馬場ともいわれる広い参道だ。十一月末、遅い紅葉が残り、今は紅葉の馬場というにふさわしい処だ。左手に「西行法師の庵跡」の碑がある。

西行井戸や、西行庵という名を聞くと、通り過ごせない年輪の深さを感じる。そう言えば、芭蕉の旅も、歌枕や西行の旧蹟を求めて歩いたのではなかっただろうか。

なだらかな勾配の広い参道の両側は、松の緑と名残の紅葉が目を楽しませる。大方はその紅葉も落ちて、掃き集められている。虚子はそうした情景に心を寄せたのであろうか。参道を登りつめた左側の植え込みに句碑が立つ。

……散紅葉ここも掃きゐる　（虚子）

二尊院の名のとおり、本堂総門を入り広い参道を本堂へ

二尊院の厨子の中には、釈迦如来と阿弥陀如来を祀る。共に重文（鎌倉）である。「発遣の釈迦」、「来迎の阿弥陀」と呼び、それぞれ意味は深い。しかし、広縁にある「あせるな、おこたるな……」などの「人生五訓」の方が、修学旅行生にはわかりやすそうだ。さらに「幸福の道」や「心の糧七ヶ条」も目についた。

二尊院は、藤原定家を偲ぶ「軒端の松」や「時雨亭趾」それに三帝陵をはじめとする墓地でも名高い。前庭には、日本画の富田渓仙画伯ゆかりの歌碑も昨年建てられた。親交のあった佐々木信綱、吉井勇、会津八一ら昭和を代表する三歌人の渓仙を偲ぶ歌碑である。

……よろずはの春秋かけてたまごもる　筆のあとともにあらんとおもへど　（信綱）

参道には名残を惜しむ人々の後姿があった。晩秋の日は嵐山に落ちて、夜のとばりが訪れていた。

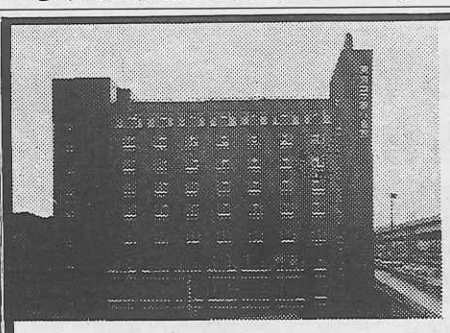
（財）全修協大阪事務局
修学旅行部長　北條直樹

（つづく）

座禅体験で
〝心、リフレッシュ!!〟
清潔、安全、快適、
安心のお宿

本館	17室	194帖	120人
比叡	28室	260帖	200人
北嶺	15室	160帖	130人
計	60室	614帖	450人

〈国際観光旅館〉
比叡山　延暦寺会館
TEL　0775－78－0047・0554
TELEX　5464－917
FAX　0775－79－5053



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL（03)585－1046(代表)

東京　コマ旅行会館

旅のガイドブック
●ハンディタイプの旅ガイド「トラベルメイト」

1 北海道	11 東京	21 松本・上高地・乗鞍	31 伊勢・志摩
2 札幌とその周辺	12 秩父・多摩・埼玉	22 蓼科・清里・八ケ岳	32 南紀
3 道東(阿寒・知床)	13 横浜・三浦半島	23 富士五湖・甲府	33 山陰
4 道南(十勝・襟裳・函館)	14 鎌倉・湘南	24 中部・高山	34 山陽
5 東北	15 箱根	25 名古屋・東海	35 四国
6 青森・秋田・八幡平	16 伊豆	26 北陸	36 九州
7 岩手・仙台・松島・蔵王	17 伊豆七島	27 近江・若狭	37 北九州(福岡・大分)
8 磐梯・会津・福島	18 千葉・房総	28 京都	38 西九州(長崎・熊本)
9 日光・那須	19 軽井沢・伊香保	29 奈良	39 南九州(宮崎・鹿児島)
10 新潟・佐渡	20 戸隠・志賀高原	30 大阪・神戸	40 沖縄

★お求めは全国の有名書店でどうぞ。
発行　近畿日本ツーリスト出版事業部
〒101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎03(257)0779/直通 FAX.03(258)3216